



鶴舞

松平東照宮御神水



支部広報担当
山本 篤

先日、紅葉を見に松平東照宮にバイクで出かけました。いつもなら混雑していない国道153号線、301号線も、車の往来が多くてびっくりしました。緊急事態宣言が解除されたのも一因ですね。それよりもっと驚いたのは、松平橋東の交差点を直進するとトンネルが出来ていて、そのまま松平郷に行けたことです。一瞬戸惑いましたが無事に着きました。

駐車場にバイクを止めて歩きかけると、「豊田市公式観光サイト ツーリズムとよた」からアンケートをお願いされて記入。内容は「何処から来たのか」、「何名か」、「目的は」等簡単なアンケートでした。謝礼に字が消えるボールペンをもらいました。

松平東照宮は、いつもなら人があまりいないのですが、紅葉の時期なのか沢山の人がいて驚きました。七五三参りの方もちらほら見え、松平東照宮の紅葉は期待したほどではなく一部だけでした。

その後、今回のもう一つの目的である、「徳川家康が産湯に使った井戸水」をもらい受けに行きました。

井戸は、社務所の端の目立たないところにあり、小さなボトルと大きなボトルが並んでおいてありました。小さいボトルは100円、

大きなボトルは500円。【御神水】のラベルが貼ってあります。

松平東照宮御神水は産湯の井戸水で、不老長寿、安産に特に良いそうです。ラベルに「松平東照宮の御神水は飲用に適さず」と書いてありましたが、社務所の方に聞いたところ煮沸するなら良いといわれました。御神水でご飯を炊くのもよいそうです。

運気を頂きによくお参りに行くのですが、山深いので冬場は避け、春まで参拝はお預けになりそうです。

*一般的に御神水とは

神水とは神様に供えるお水を指しています。霊水と呼ばれる水もあるそうです。

日本神話でイザナギノオオカミが黄泉の国で受けた穢れを川の水ですすいだ事から

【水】は穢れを祓う力があるとされました。水と神社は密接な関係にあり神社にお水がないことのほうが少ないと思います。

神様とお水は縁が深いのです。神社の敷地や境内に湧くお水を【御神水】

として総称して良いと思われます。

病気が治るとか、運気がよくなるとか、ご利益とか、解明はできていませんが、ありがたい【お水】というのは確かだと思います。

*御神水の活用法

- ① まずは飲む
- ② 持ち帰って神棚に供える
- ③ 玄関にまく
- ④ 掃除に使う
- ⑤ お風呂にいれる
- ⑥ 植物にあげる

*お水の消費期限は諸説ありますが、汲んでから9日間と言われます。飲料にするには早い方が良いです。煮沸した方が無難だと思います。

(参考資料：神様とつながる 〰ご神木&ご神水ソムリエ 香坂著)



私が柔道整復師になるまでの道筋



鶴舞支部
丸谷 康男

私は昭和41年4月4日に、東京日野市にある東京芝浦電気（株）日野工場に入社しました。そして千代田区にある本社で研修を受けた後に、名古屋にある東京芝浦電気（株）中部支社に配属になりました。配属先は通信機事業部の営業担当でした。その内に体を鍛えようと思い、空手の道場に通ったり、会社にある登山クラブに入部しました。

ある時、新聞のチラシで韓国語を教えている学校を知りました。入学条件は在日韓国人の2世、3世が対象となっていました。駄目もとで学校に行き受付で「日本人でも良いですか？」と聞いたところ良いとの返答でした。授業時間は夜間で、しかも授業料無料との事でした。早速入校する事を決めました。学校の名前は【愛知韓国学園】と言い、中村区井深町にあります。昼は会社勤務しながら4年間通学し、昭和49年3月に卒業しました。

卒業後しばらくして、ある人の紹介で中小企業の社長に会いました。社長が言うには、「近いうちに日韓合弁会社を設立するので、良かったら協力してくれないか」という話でした。私はその仕事の内容を聞き、すぐOKの返事をしました。会社は昭和49年3月に退職し、日韓合弁会社鮮興物産（株）に4月より入社しました。会社の関係で韓国にしばらく滞在していました。日常会話はもちろん何とかできました。しかし昭和50年5月に、経営困難になり自主廃業し、しばらく失業の身でした。

知人の紹介で安宅産業グループ会社、協和自動車（株）名古屋支店に昭和51年1月に入社しました。ところが翌年昭和52年4月に、大手商社の安宅産業が倒産したので、当然当

社も自主廃業になりました。これはまずいなと思い、何か資格を取ろうと思い雑誌を見ていたら、ほねつぎの学校（中部柔整専門学院）の入学案内が目にとまりました。

早速願書を取り寄せ申し込もうとしたら、困った事に書類に保証人の欄があり、熟考の上、会社在职中にお世話になったお客様にお願いしたら、心よく了解してくれました。しかも書類をみて、中部柔整の卒業生を知っているからと、紹介してもらいました。その先生は鶴舞支部で開業されている吉田 良樹会員です。そして当時吉田会員の勤務している南区の病院に1人欠員があるというので、病院事務長の面接を受け、採用が決まりました。

中部柔整（夜間部）に昭和52年4月に入学し、病院は5月からの勤務となりました。学校へは5時に勤務を終え2年間通いました。柔道整復師の資格は昭和54年4月に取得しました。昭和63年に病院を退職し、天白区境根町で4月に開設し現在に至っています。

波瀾万丈な私の人生ですが、まだまだ柔道整復師の仕事を続けます。

会員の皆様よろしくお願い致します。

笠寺

対談 柔道と私



支部広報担当
平岩 丈彦

今回は当笠寺支部会員の下山 美紀先生に「柔道と私」と題して、女性柔道整復師としてのお話を伺うかたちにしてみました。

平岩：それでは自己紹介をお願いします。

下山：私は柔道一家の次女として生まれました。父六郷 浩庸、母六郷 悦子も柔道家で柔道整復師。父方母方のそれぞれの祖父も柔道家。夫と長男次男も柔道

家で柔道整復師、さらに長男次男の嫁もそれぞれ柔道家です。これまで夫と共に頑張ってきましたが、約4年前に長男が、2年前には次男がそれぞれ修行を終え、家族を連れて名古屋に帰ってきて、現在は孫ら3人も楽しく柔道に励んでいます。

名古屋市南区で、柔道一家の私達が営む柔道場「六郷道場」を、父の亡き後、夫の下山 太が継いで、幼児から中学生まで、柔道の指導をしています。そのお陰で、六郷道場は全柔連から、白石基金を戴くことができました。また



コロナ禍前は、長男が日本武道館から「海外派遣日本武道代表团」としてオーストリアで柔道の海外交流もさせていただいております。

また柔道場では介護予防事業も開催させていただいております。



平岩：幼少期の柔道一家ならではの出来事がありますか？

下山：母方の祖父に、「締めで落ちた時はどんな感じなの？」と尋ねたら、「お花畑にいる感じだよ」と言われ、「落として欲しい！」と頼んだものの、やっぱり怖くてやめてもらった思い出があります。

平岩：柔道一家で良かったこと、嫌だったことは？

下山：嫌だった事は特にありませんでした。思春期には柔道部ではなく水泳部、短大では保育科でしたのでピアノが面白くてピアノにも打ち込んでいました。



笠寺支部
下山 美紀先生

その後柔整学校へ進学し柔道を始め、祖父に大内刈りの壁打ち込みを習ったことが思い出されます。また月次にも通うようになって柔道がとても面白くなり、在学中に二段まで取得することができました。そしてその頃クラスメイトだった主人と出会い結婚。そんな柔整学校時代を過ごし、米田 一平先生はじめ当時の仲間には感謝の気持ちでいっぱいです。

平岩：女性柔整師として子育てでの思い出はありますか？

下山：出産後しばらく柔道からは離れることになりますが、次男を出産した頃、夫が開院して、子供らを保育園に預けて必死に働いた思い出があります。その頃長男は水泳、次男はフィギュアスケートを習っており、そのスケートのチームメイトにはオリンピックで活躍された鈴木 明子さん、木原 龍一君らがあり、彼らと一緒に滑ったことが当時の思い出です。今ではお二方とも当院へ患者様としてお越しいただいております。

長男が小学校へ上がる頃、子供達は柔道を始めました。父の薦めで大石道場へ通い子供達と共に、夫も私も大石先生から沢山のことを学ばせていただきました。そのころ子供達が頑張っていたので私も柔道を再開、38才の時に三段戦に通うも相手は大学生や高校生、散々な様になりながらも何とか三段に昇段することができました。月日の流れは早いと感じる現在58才、四段とB級指導資格を取得し日々柔道の指導にあたっています。

平岩：柔道におけるコロナ禍においての苦労はありますか？

下山：柔道場を閉めていた時期もありました。リモートでの指導や、クラス分けを細かくして密にならないように工夫をしていました。

苦労というか忍びないのは呼吸が苦しくなるにも拘らず、マスク着用での稽古を、習いに来ている子ども達にお願いしなければならないことでしょうか。

平岩：受け継いだ接骨院と柔道、今後の展開などありましたらお願いします。

下山：受け継いできた六郷接骨院と夫が開設した下山接骨院の両院、柔道場の運営を母・夫・私の三人で頑張ってきましたが、二人の子供も柔整師として帰名、母にはゆっくり過ごしてもらえるようになりました。

今後は子ども達が大学で学んだことを生かし、ひきつづき接骨院、柔道場を次に繋げていけるよう、家族で力を合わせて頑張っていきたいと思っています。これから、どうぞ宜しくお願い致します。

平岩：下山 美紀先生 ありがとうございます。



刈谷

聖徳太子1400年遠忌記念 特別展を 観に奈良へ



支部広報担当
岡田 忠士

6月20日（日）奈良国立博物館へ「聖徳太子1400年遠忌記念 特別展」を観に行ってきました。

きっかけは、NHKのEテレで放送された日曜美術館「太子の夢 法隆寺の至宝」を見たことでした。今年が、聖徳太子没後1400年遠忌にあたり、これを記念した特別展「聖徳太子と法隆寺」が奈良国立博物館で6月20日（日）までの日程で行われていることを知りました。「これは行かねば！」と思い立ち事前にコンビニで前売り券を購入し、車で向かいました。

「早い時間の方が空いているのではないか」と思い、朝一番の9時30分のチケットを購入、早起きして奈良を目指しましたが、現地に着いたのはギリギリ…間に合わなかったか？と奈良県文化会館駐車場から急いで博物館へ向かいました。

博物館では、入り口から西の端に人の列ができていて、折り返したあたりで係の人に「9時30分のチケットを買ったんですが入れますか？」と聞くと「予約時間に関係なく並んでください」との事で列に並び、しばらくして順番が来て館内へ入り、特別展の会場へ向かいました。

展示物は、有名な「聖徳太子二王子像」や「聖徳太子の木像」、「日本書紀の憲法17条の記述部分」などなど素晴らしい内容でした。奥へ進むと、五重塔に安置されている国宝の塑像が展示されていて、五重塔の1階部分には4面に1場面ずつ釈迦の物語を表した塑像による、たとえるなら立体紙芝居があることを知りました。

博物館新館を出て隣接する「なら仏像館」へ、中に入り通路を奥へ進むと正面の部屋（ここからは入れない）に置かれた巨大な金剛力士像が目に入りました。順路を回り入り金剛力士像の前まで来ると、その大きさに感動しました。この像は「金峯山寺仁王門（国宝）に安置される像高5メートルに達する巨像」と説明されていました。ちなみに東大寺南大門の仁王像（金剛力士像）は8.4mだそうで、さらに大きいそうです。仏像館は名前の通り様々な時代の様々な仏像が展示され、時代時代で仏像の顔が違うのを観ることができました。

その後、軽く昼食を済ませて薬師寺へ行きました。薬師寺は写経（¥2,000〜）をすると、薬師寺の拝観料と駐車料がセットになっていてお得に薬師寺を拝観することができます。写経は初めての体験で、写経道場では机に般若心経が印刷された紙の上に写経用の紙が置かれ、横に硯と筆と水差し、墨が置かれていました。「えっ！墨をするところから！」と思いつつ硯に水を差し、墨をすり始めましたが、濃さが分からない…。しばらくすったところで、書き始めると「薄い」…。試行錯誤しながらなんとか書き終え、周りを

見ていると皆さん正面の箱へ納めに行っていることが分かり、自分も納めました。

字が下手なうえに、薄い字で書かれたお恥ずかしい内容になってしまいました。「これはまたリベンジしなくては」と思いつつ写経道場を出ました。

後日、テレビで薬師寺の事をやっていました、「写経は、東塔以外焼けてしまっていた薬師寺の再建のために、昭和42年高田 好胤住職が始め、写経をしてもらうことで資金を集めた」と知りました。またその当時の写経が今も保管されているそうです。

東塔は、修復され中を観られるようになっていました。1階部分の天井にある絵を観やすいように床に鏡が置いてあるなど、観やすくしてありました。西塔も1階の扉は開かれていて、中が観られるようになっていました。聖徳太子展で観たようにそこには釈迦の物語が立体紙芝居として4面にそれぞれ置かれていました。

西僧坊には、東塔の天辺についていた「相輪水煙」が展示され、間近に観ることができました。

今回も新たな発見があり、楽しい旅になりました。



薬師寺西塔



薬師寺東塔相輪水煙

大曾根

日本の伝統芸能「歌舞伎」の観劇
(オンライン) 報告大曾根支部
田代 文吾

「日本の男性は自国の伝統芸能・文化に無関心な人が多い」という記述を目にしたことがあります。私も例にもれず伝統芸能等には縁のない生活を送っています。恥ずかしながら歌舞伎・能・狂言・浄瑠璃等、具体的な違いさえも怪しいレベルです。しかしながら日常の患者さんとの会話の中で「歌舞伎」や「能」といった単語は時々耳にします。当院は場所的に、「御園座」や「中日劇場」・「能楽堂」に比較的近いということもあり患者さん、特に女性の患者さんの多くは、「歌舞伎」について造詣が深いようでした。そのような場面においては、私は知ったかぶりで適当に相槌を打っているか、ワイドショー等で知っている下世話な知識を披露するくらいで正直今となっては本当に実のない会話で恥ずかしい限りです。

そして「コロナ禍」という未曾有の事態になり当院も多大な影響を受けることとなり、特に併設する柔道・合気道の道場においては昭和23年の開設以来の長期稽古自粛も経験しました。「新しい生活様式」への変革が求められ「オンライン柔道」「オンライン合気道」も実際に検討した時期もありました。

「歌舞伎」等、伝統芸能の分野でも劇場での舞台観劇等が制限され、市川 海老蔵さんの「『十三代目市川 團十郎』襲名披露公演が延期になった」とのニュースも耳にしました。

そんな中、付き合いのある日本生命様より「歌舞伎」しかも患者さんの会話の中で「最もチケットが取れない」と言われていた市川 海老蔵さんのオンライン公演にお誘いをいただき、百聞は一見に如かず、しかもオン

ライン公演となれば敷居も高くないなと思い応募しました。演目は「三升先代萩（みすませんだい はぎ）」『伊達騒動物』歌舞伎では人気のある演目だということです。演目のあらすじ等は割愛しますが興味のある先生方は是非観劇をお勧めします。そして「歌舞伎」観劇の感想ですが、その全てが想像とは違っていたことに驚きました。「内容よりもリズムを楽しむ会話シーン」、「切れのある動きよりも様式美を追及した切り合いのシーン」、「現代の映像技術でいうならクローズアップにあたる『見得（みえ）』」、「『だんまり』と呼ばれる暗闇を明るく見せるシーン」、「『荒事』と呼ばれる超人的な強さを表現するための隈取（くまどり）等の化粧」、「海老蔵さんが善悪主要な人物七役を早替わりで務める…」等、未知の言葉や出来事の連続でした。この様に述べると、「やはり歌舞伎は難解だ」と思われがちですが、安心してください実際の観劇でも解説や見所はイヤホンを借りて聞きながら観るのが一般的とのこと。

今回、はじめて「歌舞伎」をオンラインではありますが実際に通して見させていただき、その独特の世界観、伝統芸能としての不変的な継承の一部を垣間みられ、大変貴重な体験ができたと思います。「歌舞伎」はこれからの「歌舞伎」であり、海老蔵は團十郎を襲名し「成田屋」は益々の発展をするであろうと思います。コロナ禍が去り実際の舞台での観劇が気軽にできるようになったら是非十三代 市川 團十郎さんの「見得」を生で観てみたいと思いました。

最後に、我々「柔道整復師」も伝統の継承と新たな変革を乗り越え、将来も「柔道整復師」としてあり続けられることを切に願います。

全国柔道高段者大会 20回出場表彰



大曽根支部
中村 太

講道館恒例の全国柔道高段者大会が11月3日（祝・水）東京講道館において開催され、今回「全国柔道高段者大会20回出場表彰」をいただきました。

本大会は、五段以上の修行者が出場できる年1回の大会で昭和24年（1949年）に嘉納師範の命日を記念して始められました。また歴史と伝統のある講道館の重要な行事の一つであり例年4月28日に行われています。しかし本年は新型コロナウイルス感染症の影響により延期されての開催となりました。



全国柔道高段者大会 開会式

本大会は安心・安全に実施するため、選手には参加同意書を事前に郵送し、当日受付に提出していただき、選手や大会関係者以外の入場を禁止する等、様々な感染防止対策を講じられ各段出場者の受付時間、試合開始時間を固定し、入場、退場は決められた導線のみにするよう3密の回避を徹底し開催されました。約700名の選手が10日間の健康管理票を提出して参加し、大道場において熱戦が繰り広げられ、また各段位の試合終了後には、畳の消毒を行うなど感染症対策が徹底されました。

平成12年（2000年）4月に初めて全国高段者大会に出場してから今年令和3年（2021年）まで合計21回出場し、10回出場表彰の時は、記念品として銀バッジを頂いたのですが今回は金バッジを頂きました。初めて参加した21年前は、柔道の聖地「講道館」で試合が

できる嬉しさの半面、緊張感でドキドキしていましたが、一緒に参加した大曽根支部の呂会員、加藤会員、榎本



「講道館」の透かしの入った全国柔道高段者大会20回出場表彰状

会員、笠寺支部の下山会員、半田支部の森会員、一宮支部の夫馬会員方々のおかげで、緊張が解れ精一杯の試合をしたことを思い出します。

21回の試合では「技術優秀賞」をいただいた一本勝ちの試合もあれば、講道館の天井に足が付くかと思うほど真逆さまに畳に叩きつけられ負けた試合、



記念品の講道館金バッジ

惜しくも引き分けた試合、必死に引き分けた試合など様々な試合内容がありましたが、試合の後は毎回自己反省し、次の試合に活かすようにしています。また最近では、高段者大会の審判員としても参加し、大変貴重な経験もしています。

高段者大会は、昇段のための試合点数を取得するため出場される方が多いと思いますが、点数が貯まっても参加するようになったのは、嘉納師範が言われる、進取的精神（自ら進んで物事をしようとする心）が、弱い私の背中を押してくれたのだと思います。

私は、生活の規範を柔道から学んでいます。柔道とは「心身の力を最も有効に使用すること」と定義されています。ですから「心身の力を最も有効に使用すること」を柔道と考えると、野球、バスケットボール、卓球等すべてのスポーツ、または仕事、勉強、読書、演劇等も言い換えれば心身の力を最も有効に使用していれば、それもまた柔道だと思います。

嘉納師範はこの原理を「精力善用」の標語で示し、これこそ柔道技術に一貫する原理であるとともに、社会生活すべてにおいても欠くことのできない重要な原理であると言われています。そしてこの原理を実生活に生かすことによって、人間と社会の進歩と発展に貢



嘉納師範 遺訓

献すること、すなわち「自他共栄」をその修行目的としなければならないと教えられました。「講道館」という名前は、その道を講ずるところ、という意味で名づけられ、講道という語には、道を学び、実践するという意味があります。そして、講道館柔道と名付けて柔道の本質を明らかにしているところに、嘉納師範が「術」ではなくこの原理と目的により自己完成をめざす「道」を重んじ、その修行を一生の大事としていた事を知ることができます。

毎年試合に出るために体調管理や練習を行います。大勢の方々のおかげで成しえるものだと思います。練習をさせていただいた沢山の道場、指導して下さった先生方、練習相手をしてくれた選手たち、試合相手の数々の選手たちに感謝いたします。私はチャンピオンではありませんので、いつでも挑戦者の気持ちを忘れず、来年も講道館の畳に、青コーナーから上がります。

熱田

20年振りの顎関節脱臼徒手整復

支店広報担当
山守 貴英

令和3年10月某日、当院駐輪場に見慣れない一台の原付バイクが入ってきた。半キャップ型のヘルメットを被った男性の顔を確認することはできなかったが、見知らぬその風貌は50ccのスクーターが30ccに見間違えうほどの

体格で、ホワइटの半袖Tシャツにグレーのトレパンを纏い、袖口から覗く太く逞しい上腕部には立派なタトゥーがあった。

——ちょっと面倒な患者か？

というのが正直な第一印象であった。

その日の午前中の受付係は七十過ぎの母親の当番であったが、今一要領を得ていない節があり、色々な意味できっと埒が明かなくだろうと思い、施術中の手を止め自ら応対することとした。マスク姿の大男の第一声は「アゴガハズレタ。ヒダリ。ニカイメ」であった。外国語訛りの流暢な日本語を話す顔はよく見れば日本人離れした浅黒い肌と、人の良さそうな二重瞼が見て取れた。聞けば、来日7年目の日系ブラジル人で、起床時に大あくびをした際に顎が外れたとのこと。装着していたマスクを一旦外していただくと下顎部が右方に偏位しているのが確認できた。左顎関節脱臼である。

すぐさま問診票の記入をお願いし、少しの間待合室でお待ちいただいた。よく考えると筆者の顎関節脱臼整復の経験は2回しかなく、いずれも同一人物である。それは最初の病院勤務時代のことで、近くの老人施設で暮らす、ADL全般に全介助を必要とする認知症を患った瘦身の老婆であった。徒手整復の手順は概ね承知しているつもりだが、約20年振りの整復に不安がよぎった。ましてや筋骨隆々の大男である。

——もし整復できなかったらどうしよう！？
何処へ紹介すれば良いのだろうか？

慌ただしい展開に動揺し、脱臼位の外観の写真撮影をお願いすることなどすっかり忘れてしまったが、一抹の不安を胸に、しかしそれを悟られぬよう平静を装いながら、他の患者のタイミングを見計らって施術室へ招き入れベッドに仰臥位で寝ていただいた。筆者は頭側からの口外整復法を行う。まだまだコロナ禍ではあるが事情を説明しマスクを外していただき、下顎部に手を添え整復操作に入る。脱臼整復のセオリー通り患者の緊張を解けた

め、当院へ来院した経緯や初回脱臼時の話題を振るも、喋りにくそうで話が続かない。次第に、暑さと痛みを堪える患者の頬を流れる汗と、不安と緊張のあまり筆者の手掌から滲み出る汗とが混ざり合いヌルヌルと滑ってしまい上手く下顎部を把持することが出来なくなる。正に手に汗握る攻防であった。すぐさまタオルをあてがい再度整復に取り掛かる。しばらくすると『ゴクッ』という整復音とともに、患者の「アッ、ナオッタ!？」という大きな声が院内に響き渡り、口の開閉を確認し無事整復を完了した。

近年、接骨院を訪れる骨折・脱臼の患者は減少しているといわれている。当院も例に漏れず、開業して11年目になるが来院する患者の多くが捻挫・挫傷・打撲の患者である。今回数年振りの脱臼整復であったが、久々に整復音を触知した時に『柔道整復師として忘れかけていた感触』を思い出した様な気がした。と同時に、自らの顎関節脱臼への理解や整復操作は果たして正しかったのかと疑問が生じてきた。かつて学術部活動の中で、「臨床上の疑問点や失敗経験を掘り下げ学び直し、またその情報を同志と共有することで更に自分の理解も深まる」と教えられたことがあったが、免許取得後25年にもなって今回新たに得られた知見の多さには自分の不甲斐なさを痛感した。

この経験を機に、今後骨折・脱臼の患者が急に増えるということは決してないのであろうが、折角当院へご来院下さる全ての患者の予後を不幸なものにしないためにも、今一度日々の業務のあり方を検証せねばと気を引き締めたのであった。



一宮

萬葉公園とホタルの会



支部広報担当
櫻木 哲也

我が町一宮市萩原町には古くから萩原の地名がある、この地は萩の名所として萬葉集に数多く歌われていると伝えられており、これにちなんで昭和32年に歌碑を建立し、萬葉公園と名付けられた。歌詩板が園内に多数設置されており、萬葉の古をしのびながら園内を散策できる。また、河津桜や花菖蒲といった季節の花も見られ、市内外から多くの方がこの公園を訪れ、歴史公園としての文化的な一面だけでなく、テニスコートやグラウンドで本格的な運動も楽しむことができる施設となっている。

近年の自然環境保全の高まりの中、各地で「ホタルの鑑賞会」が開催され、大きな話題となり「豊かな自然の景観が保全された区域が多く、四季折々の風情を味わえる萬葉公園でその環境を活かしホタルの飛び交う幻想的な光を鑑賞して、この公園の認識を高めたい」という願いで平成14年6月23日「ホタルの夕べ」を初めて開催した。この時は「一宮ホタルの会」から約500匹のホタル、大籠を借り受けて実施した。期待以上に地域住民に喜ばれ「開催してよかった、来年もぜひやろう」と役員一同決意を新たにし、同18年4月に大人35人、子供15人の「萬葉公園ホタルの

会」を発足した。当初、会員全員が素人であり飼育に不安があったが他団体の助言協力により、小屋の作成、餌の調達、温度管理等、飼育方法を学び会員の大変なご苦勞もあり立ち上げることができた。

そして、ついに自前による「ホタル舞う夕べ」を同年6月10日に開催し、天候にも恵まれたこともあり午後8時からという夜の開催にもかかわらず、約800人の来場者があり、大盛況にて終了し来年以降の開催に手ごたえを感じ、その後15年にわたり開催された。

今日、地球温暖化をはじめ、環境問題の関心が高まり、子供たちへの環境教育の重要性が叫ばれている。「ホタルの飼育を通して生き物を育てるやさしい心や自然環境を大切にする心を育てたい」という願いを持って地元の子供に参加を呼びかけ、初めて見る幼虫に戸惑いながらも回を重ねるごとに上手に幼虫に触ることができ、今は無心になって取り組んでいる。育てたホタルが淡い光を放って飛んだ時には、どの子供も目を輝かせ、何物にも得難いほどの感動を味わい、親子3世代の交流の場所として活用している。

昨今の新型コロナウイルスの感染拡大により、ここ2年開催が中止されているが、近い将来には再開され、ホタルの輝きと共に賑わいが戻ってくる事を切に願っている。

岡崎

岡崎市美術館開館25周年記念 特別企画展 「至宝 燦めく岡崎の文化財」



支部広報担当
菅沼 秀生

岡崎市中心総合公園内にある岡崎市美術博物館で、特別企画展「至宝 燦めく岡崎の文化財」が、第Ⅰ部：令和3年10月9日（土）

から11月7日（日）まで、第Ⅱ部：11月20日（土）から12月19日（日）まで開催されました。Ⅰ部とⅡ部で展示品を入れ替え、旧石器時代から江戸時代の市域の文化財と名品、並びに歴史上の人物ゆかりの資料が展示された企画展です。

岡崎は、日本列島の間地であり南北に貫流する矢作川と、東西をつなぐ東海道が交差する地で地理的・地形的特質によって古くから人が暮らし、独自の歴史と文化が培われてきました。

また徳川家康の出生地として有名ですが、それ以前の中世で、足利將軍家とかかわりがある地であったことはあまり知られていません。歴史的に2つの將軍家飛躍の地ですが、今回、様々な資料から將軍家と岡崎の関係性やその背景が浮かび上がりました。

〔出土品にみる岡崎のあけぼの〕

市内の古墳群から出土した銅鐸や、矢作川の河床に眠っていた平安時代の小皿の焼き物は完全な形で残っていました。



また同じく河床から人の顔が筆で描かれた陶器の破片が無数に発掘されております。その人面はとても見る者が心安らぐ表情ではなく、気味が悪く心をモヤモヤとさせる怖い老人風の顔でした。なぜ当時の人々はこのような絵を描いて川に流したのか。ただの落書きにしては度が過ぎる、と疑念をもって解説を読んだところ、「悪鬼邪鬼などを鎮める為、呪術的な目的で破片に人面を描き川に投げ込まれた」と書かれていました。科学が発達

していなかった時代では、災害や干ばつ、他得体の知れないものに対して、それらを鎮める為に超自然的・神秘的なものの力（まじない）などに頼っていたことが想像できます。描かれた人面が何者か解りませんが、描いた人も、このような自身の苦悩を現した不安げな表情であったのではないかと、思わずにはいられませんでした。

〔中世岡崎と足利氏〕

岡崎北部にある滝山寺は、源頼朝の従兄弟が寺の僧侶であった所以で頼朝への信仰が厚く、今回展示された寺所蔵の運慶・快慶作重要文化財「聖観音菩薩立像」の内部には頼朝の御歯と御髪が納められていることがわかっています。

その後、三河守護足利氏が源氏より壇越^{だんおつ}となり滝山寺は最盛期を迎え、足利尊氏が本堂を再建しました。岡崎に尊氏の母方上杉家の居住地があったこともあり、岡崎と足利將軍家のかかわりの深さを知りました。

他、多くの市指定文化財の仏像と書簡の展示があり大変興味深い企画展でした。

中村

あいち朝日遺跡ミュージアム



支部広報担当
半谷 和男

当支部地域内には2020年11月にオープンした「あいち朝日遺跡ミュージアム」があります。東海地方最大の弥生集落「朝日遺跡」を紹介する遺跡博物館です。清須東JCTの南西、国道22号線と清須城の中間あたりにあり、私が車の免許を取ったころに「貝塚遺跡…」と看板が立っていた場所であることがわかりました。コロナ禍でなかなか行けませんでした。緊急事態宣言が解除されたので「今だ」と思い行ってきました。



朝日遺跡は、弥生時代前期から古墳時代前期（紀元前6世紀～紀元後4世紀頃）まで営まれた全国でも有数の大規模集落で、この地域の生活・文化の中心として栄え、東西日本の弥生文化をつなぐ重要な役割を担っていたそうです。

施設は「本館」「史跡貝殻山貝塚交流館」「弥生時代の遺構」「体験弥生ムラ」から成ります。

「本館」は展示室・体験学習室などがあり「基本展示室1」では、弥生時代の生活・文化を動画で分かりやすく説明する「クロスロードビジョン」や、模型で細部まで表現された「朝日遺跡ロケーションジオラマ」があります。

「史跡貝殻山貝塚交流館」は史跡貝殻山貝塚を紹介するガイダンス施設です。

「弥生時代の遺構」は貝塚を中心とする遺構が保存され、また弥生時代初期の環濠（堀）と貝層が復元表示されています。



「体験弥生ムラ」は史跡に隣接して、竪穴住居・高床倉庫など弥生時代の生活空間を復元し季節に応じた体験学習を実施しています。古代体験プログラムには、月毎にメニューが変わる土・日・祝開催のものと常時開催の

「火おこし体験」があります。来場した11月20日（土）は「あいち朝日ミュージアム収穫祭」というイベントが開催されていました。

今では想像もできませんが、清州東インターの辺りが太古の昔は湿地帯や河であったり、またこの近くまで海がきていたなど大変多くのことに驚かされました。

こんなに近くに日本でも有数の遺跡があります。お時間を見つけて一度足を運ばれてはいかがでしょうか。

鶴舞

『御器所大根』



鶴舞支部
吉田 良樹

『愛知郡御器所村大字御器所』我が家の所在地です。

現在は大正十年に名古屋市に編入され、『昭和区御器所』に改められています。

かつて御器所では、全国に名を馳せた「御器所大根」が盛んに生産され、江戸時代には漬物として全国に広まり、各地の武将を魅了していたそうです。

御器所大根は品種名ではなく、御器所周辺で作られる大根の事で、なかでも江戸時代末期～昭和初期、御器所周辺では大根の生産が大変盛んで（特に現在の地下鉄鶴舞線荒畑駅の交差点から東側の東畑町）、あたり一面には大根畑が広がっており、御器所大根として各地の人々に親しまれたと言われています。

大根作りには「黒ボク土」と呼ばれる黒くてふかふかとした土壌が欠かせません。かつて鶴舞公園の辺りは海でしたが御器所は「御器所台地」と言って高台だった為、満潮になっても海水につかる事はありませんでした。その為、黒ボク土が豊富で作物がよく育ちおいしい大根が収穫できたと言われています。

御器所大根が全国的に知られるようになったのは漬物として加工された事がきっかけです。江戸時代初期 御器所周辺では作り酒屋がたくさん営まれていました。商人が店の大きな酒樽を使って沢庵作りをしたところ、酒樽にしみ込んでいた酵母が醗酵を促進し他の沢庵とは一味違う美味しさになったと伝えられています。

やがて徳川幕府初代将軍の徳川家康に、御器所の沢庵を献上した事で少しずつ知名度が上がり、「御器所沢庵は刺身の味」という諺^{ことわざ}が残っている程その味は評判となり、全国の武将に知れ渡っていき、明治時代には御器所の漬物問屋が御器所大根を使った福神漬けやナス辛子漬け等を作り明治～大正初期にかけ全国へと拡大していったようです。

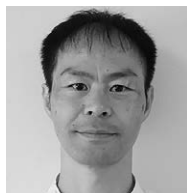
しかし長年栽培された為に連作障害が起き、大根の不作が続いたこともあって徐々に御器所大根の生産が減り、いつしか人々の記憶から忘れ去られてしまいました。

百年ほど前の御器所では、丁度この時期に大根が収穫されていたことを想像すると、感慨深いものがあります。

これからの寒い時期は、おでんがおいしい季節です、「御器所大根」に思いを馳せ今夜は熱燗で一杯、大根を頂くことにしよう。

半田

「都市鉱山メダル発祥の地」 記念碑を設置



支部広報担当
西松 信明

皆さん、東京五輪・パラリンピックで使用されたメダルが、使用済み小型家電に含まれる金属、いわゆる都市鉱山を使ったメダルだにご存じでしたか。

令和3年9月1日、大府市役所市民健康広場

で「都市鉱山メダル発祥の地」記念碑の除幕式が開催されました。この記念碑は、東京五輪・パラリンピックのメダルを使用済み小型家電に含まれる金属から製作する国民的プロジェクト「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」が、大府市・至学館大学・リサイクルを手掛けるリネットジャパングループ（株）の三者の取り組みをきっかけに始まったことを記念し、リネットジャパングループ（株）から寄贈されたものです。

記念碑の中央には、リサイクル金属を使用したメダルが設置され、その周りに歴代の大府市ゆかりの金メダリストの名前が刻印されたプレートが設置されています。



この取り組みは、平成28年10月、都市鉱山メダルが東京五輪・パラリンピックで採用されることを目指し、大府市・至学館大学・リネットジャパングループ（株）が連携して「都市鉱山メダル連携促進委員会」を発足しました。その後、全国126自治体から取り組みに対する賛同を得て、東京2020大会組織委員会に「都市鉱山メダル」の使用を提案し、「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」として採択されました。全国1621自治体に広がり、東京五輪・パラリンピックの全てのメダル（約5000個）に都市鉱山メダルが使用されました。

東京五輪・パラリンピック終了後も継続して、パソコンや小型家電のリサイクルを行っています。大府市の回収ボックスや宅配便によるパソコンの無料回収をご利用ください。

（広報おおぶ10月号より）

支部だより

笠寺

令和3年 笠寺支部役員会



支部広報担当
平岩 丈彦

令和3年8月31日（月）定例の笠寺支部役員会を行った。今回もコロナ禍の緊急事態宣言発出された中、対面での会合はできないためZoomによるリモートでの開催となった。

冒頭今期より新支部長となった山口 敬史先生より、このコロナ禍の中、日頃から細心の注意を払いつつ施術等の業務に当たる会員らを労う挨拶から始まった。



平日の夜の開催ということもあり通常業務終了後参加する先生、また通信状態が良く無くなかなか入室できない先生などあったが、約1時間半の会合を行うことができた。

例により各部会からの活動報告であるが、とにかくこのコロナ禍、通常なら救護や避難訓練、その他講習、研修等数々の行事が行わ

れるはずであったが、ことごとく中止となり報告できる事例が無かったのは寂しい限りだ。

さらに秋～来春に向けての予定も決まらず、毎年11月に行われる研修会と情報交換会も中止、さらに活動が思うようにできないため後期の会費徴収はしないこと等を確認した。

この他支部長より笠寺支部独自の連絡サイトの立ち上げについて、会員相互の情報交換、また愛知県柔道整復師会並びに日本柔道整復師会から発信された情報の周知、徹底に活用する旨のお知らせがあった。

先にも述べた通り対面での活動が難しい昨今、会員間での資料・資材また領収書等の授受等が難しいため、会運営に支障を来すような事例についての対応も決め、役員会は終了した。

本号が発刊される頃にはコロナ禍も終息に向かうべく以前のような、しかし何か新しい世の中が始まりつつある事を願わんばかりである。

豊橋

豊橋市体操教室業務への参入



豊橋支部
金城 光伸

厳しい寒さが続きますが、皆様にはご壮健にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

豊橋市の体操教室業務は、2年目も本会豊橋支部として開催する事ができました。

今回は、自治体の体操教室業務に初めて参入する際の手続き、入札、具体的な報酬等についてお話をさせていただきます。各自治体によって対応に違いがありますので、一つの例として参考にしてください。

①市役所で事業者登録

入札に参加するため豊橋市では、契約検査課にて「愛知県柔道整復師会」の名で事業者

登録をし、どのような資格を保有するかを示します。業務の資格に該当すれば、入札の時期が近づくと入札に参加する意思があるかないかのアンケートが市から本会にFAXで届きます。参加の意思を示すと入札通知書類が届き、入札金額の傾向を予測して入札金額を決めます。（※前年までの入札した会社名、団体名と入札金額と落札金額は市役所にて閲覧できます）

②入札

入札書は、開札日前日までに提出を済ませます。記載する事項、例えば日付など間違えると無効になってしまいますので注意が必要です（毎年2つくらいの会社が無効になっています）。因みに入札書類が届いたにもかかわらず、辞退をしてしまうと翌年、呼ばれなくなるみたいです。

③開札

開札は、開札する会場（自治体によっては通路で開札結果が発表されるなど会場自体が無い場合もあります）で行われます。出欠席は自由です。欠席した場合でも落札者に連絡があります。

④落札

落札すると契約書を交わします。契約書は本会会長印が必要となります。本会事務局にて押印、割印はやっていただけます。

その後、市が事業者を求める体操教室業務の内容についての打ち合わせが始まり、体操教室本番を迎えます。

豊橋市では前期後期6教室、各教室全10回を行います。

初年度は9,879,780円で落札し、経費を差し引いて1人あたり、教室一回7,833円×20で156,659円の報酬でした。

最大のライバル事業者は豊川市に既に参入しており、豊川市の藤本会員の情報のおかげで、ほぼノーマークで落札できました。我々の落札金額は開示されますので、ライバル事業者は昨年の落札金額を踏まえて今年度の入札に挑んできます。

結果は我々が落札しましたが、予測通りライバル事業者は昨年度の落札金額より少し下げた金額での入札でした。

以上が豊橋市の流れとなります。

現在、2年目後期の体操教室が始まっております。地域のお役に立てるように豊橋支部会員一丸となり頑張ります。

共済会だより



愛知県接骨師会共済会 副会長
金田 圭一

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

会員の皆様方には、日頃より共済会の運営に際し多大なご理解を賜り、御礼申し上げます。

会員の皆様の中には、確かに愛知県柔道整復師会に身を置いてはいるけど「愛知県柔道整復師連盟とは?」「愛知県接骨師会共済会とは?」まして「共済会だけ何故接骨師会なのか?」と疑問を持たれる方もおみえと思います。私も会務に身を置くようになって組織の役割を理解しました。

共済会とは、会員相互扶助の精神に基づき

会員の病気、災害、火災、死亡の遭遇に際して会員の支援を図り生活の安定に寄与することを目的とし、そのための事業として①慶弔見舞金②災害見舞金③火災見舞金④死亡弔慰金（400万円）（80歳6か月を過ぎた場合は共済会理事会の議を経て支給額を決定）等が主な支援内容です。

相手を思いやる利他的な奉仕の心や協力が、押し寄せる不安を払拭し、安寧を得られるよう寄与します。

団体保険故に、新入会員の減少に伴い安い掛け金の若年層より、高額に推移する高齢会員の掛け金が増え、結果掛け金の高額化となってしまうます。共済会の運営は今まで以上に安閑としていられなくなってきております。

会員の皆様には、本年も尚一層のご協力とご理解を賜りますようお願い申し上げますとともに、愛知県接骨師会共済会会員の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

介護ステーションだより



管理者
平岩 治郎

日ごろは愛柔整介護ステーションに対しご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

日本は、諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行しています。

65歳以上の人口は、現在3,500万人を超えており、2042年の約3,900万人でピークを迎え、その後も、75歳以上の人口割合は増加し続けることが予想されています。

このような状況の中、団塊の世代が75歳以

上となる2025年（令和7年）以降は、国民の医療や介護の需要が、さらに増加することが見込まれています。このため、厚生労働省においては、2025年（令和7年）を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立した生活を支援する目的で、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を推進しています。また「病院完結型」から「地域完結型」医療への変化、対応も唱えられております。

「地域包括ケアシステム」とは、高齢者が住み慣れた地域で生活し続けられるよう、要介護になった場合も含めて住み慣れた地域内でサポートするシステムです。住み慣れた家を終の住処として考えてみえる方も多くなってまいりました。

その人らしい生活が送れますようにサービ

スの提案をさせていただきますので、先生方からのご紹介を頂戴し、お役に立たせていただきたいと思います。と思っています。

また、先生方で行ってみえる介護予防事業のお手伝いもさせていただいております。何卒ご協力の程、お願いいたします。

協同組合



副理事長
手塚 幸一

日頃は組合員の皆様には、協同組合をご利用いただきまして誠に有難うございます。

本組合は事業協同組合として組合員の先生方が互いに協力し助け合う精神に基づき設立されており、令和3年4月から組合第26期の年度が始まりました。四半世紀以上の組合活動が継続できておりますのは組合員の先生方のご理解とご協力の賜物と役員一同厚く御礼申し上げます。

組合の主な事業としては協同購買事業、福利厚生事業、教育情報事業を活動しており、生命保険、損害保険料の手数料が安定的な組合の財源の柱となっております。しかし、近年保険契約者の減少が続く、各業者定員の10名を下回り団体扱いの契約ができなくなる事案が出ております。組合の安定的な活動を継

続していくためと財務体質強化するためにも、保険料の組合払いに何卒ご協力をお願い致します。また、組合員の皆様の経費削減のために各種保険、電気代の診断等も指定業者でのご相談の仲介等も行っておりますのでご連絡ください。皆様の取引のある業者様で、組合指定業者に加入されていない業者様もご紹介ください。

今期も新型コロナウイルス感染症拡大の影響で各種行事が中止となる中で、昨年5月28日愛整会館にて協同組合総代会は感染防止を考慮しまして、書面議決にて縮小開催し、無事に全議案承認されました。そして少額ではございますが、利用分量配当を配当させていただきました。また（公社）愛整会総会出席者の先生方へもマスクを配布させていただきました。12月に今期中間監査を行いまして、無事に終了しました事をご報告させていただきます。

収入的には昨年度より厳しい数字が出ており、経費削減に努め利益を確保し、配当できるように努めてまいります。組合員の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解ご協力を、お願い申し上げます。

愛整広報第81刊を無事発刊することができました。原稿・写真をいただきました会員の皆様のご支援とご協力の賜物でございます。感謝申し上げます。

不慣れな私にご指導いただきました藤川担当副会長、前広報部長の古賀監事、そして岡田部員、室谷部員の心強いサポート、10支部の広報担当者の先生方のご協力に対して御礼申し上げます。

今後もより良い広報誌作成のために、多くの会員より原稿をいただきたいと考えております。会員全員で作成する「愛整広報」となるようにしたいと思っております。

原稿依頼をしますと、「文章が下手だから」、「書くのは苦手」という返答をいただきます。私たち柔道整復師は知識と技術、そして「人に伝える」ことも求められる職業であります。文章を書くことでプレゼン能力も向上します。また、広報部でしっかりとサポートしますので、安心して投稿してください。

「よし、書いてやろう!」と思ったら、まずは各支部の広報担当者に原稿をお渡しください。

原稿お待ちしております!

松田 吉弘



12月16日、愛知県柔道整復師会前会長の佐久間 稔晴先生がご逝去されました。この場を借りて哀悼の意を表させていただきます。

令和3年も、コロナウイルスのパンデミックによる影響が出るなか7月には、東京オリンピック・パラリンピックが1年遅れで開催され無事に終えることができました。

しかし、コロナウイルス新型株が次々と出現し、緊急事態宣言が出るなどにより、我々も患者さんの減少や様々な行事の規模縮小での開催や、中止となるなど影響を受けました、そして愛整広報は今号も記事が減りページ数を減らすことになりました。

O(オミクロン)株の感染拡大が騒がれていますが、今のところ日本は落ち着いていると思います。基本ウイルスは、生物に感染して自分のクローンを量産し、咳やくしゃみ、鼻水などで周囲に拡散し周りの感染可能な生物に感染することで仲間を増やすのが生業です。とりついた先が死んでしまえば、自分も生きていけません、よって徐々に弱毒化して行くのが一般的な経過であると聞きました。一刻も早く終息し、令和4年が良い年となりますことを祈願して、編集後記とさせていただきます。

岡田 忠士



コロナが止まらない。感染者は徐々に減少傾向ではありますが、新たにオミクロン株という変異株が出現しじわじわと威力を増し、依然収束には至っていません。そんな中、愛整広報第81刊が発刊できましたことは愛整会会員の皆様のおかげと先ずもって御礼申し上げます。

昨年12月16日愛整会前会長佐久間 稔晴先生が御逝去されました。私が愛整会に入会させていただいた平成3年、佐久間先生は半田支部の理事であり、その後会長になられましたが、どこかでお会いすればいつもあの大きな体を揺すりながら「元気にやっとなるか?」と声をかけて下さったことを思い出します。

加えて私事ですが、10月には私の叔父であり柔道整復師の師匠でもある石川県に在住していた山崎 延幸先生も御逝去されました。亡くなる半年前の5月、80歳の誕生日までは現役を貫いた師匠でした。そんな尊敬して止まない2人の大先輩を亡くしてしまいましたが、これからの愛整会、そしてこれからの柔道整復師業界を広報を通して大先輩に胸を張れるよう頑張りたいと思います。

よろしくお願いいたします。

室谷 勉



第82刊の原稿募集

1. 内 容 論説、時評、文化、学術、短歌、俳句、ふれあい、支部だより等
また、記事に関連する写真がありましたら添付してください。
支部名・お名前を必ずお書きください。
ご本人の顔写真は必ず添付してください。
2. 締切日 2022年5月20日(金)
3. 送り先 〒460-0022 名古屋市中区金山5丁目13番22号
公益社団法人 愛知県柔道整復師会 広報部
愛整広報メールアドレス：kouhou@shadan-aisei.jp

投稿についてお願い

1. 寄稿文の採否、および多少の字句の訂正は広報部にお任せください。
2. 引用文献は、必ず著者名、著書名、巻、頁、発行所を明らかにしてください。
3. 原稿は横書きに統一します。
4. 文章の題名、支部名、氏名は、4行使い、本文は5行目から書き始めてください。
5. 句点「。」読点「、」かっこ「（）」は、必ず全角文字を使ってください。
6. 書き始め、段落の始めは1字あけて書いてください。
7. 原稿は読み返して、推敲してください。
8. 医学用語は正しく書いてください。
9. 原稿・写真は、支部担当者へ提出してください。支部担当者が、必ず校正して提出してください。
原則提出していただいた原稿・写真は返却しませんのでコピーを提出してください。
10. 原稿(データ)は、原則として、Windows版Microsoft WORDまたはEXCELで作成してください。原稿執筆者の顔写真を必ず提出してください。
11. 1枚の画像の容量は300KB程度とします。
文書内に貼付けた画像は、元の画像ファイルも添付してください。
ただし、表紙に使用する写真は2MB以上で、できるだけプリントしたもの(2L版以上)を添えて提出してください。
12. 投稿した原稿・写真等は、締切日より1ヵ月程度はご自身でも保管しておいてください。

発行日 令和4年1月31日

発行者 森川 伸治

編集者 松田 吉弘・岡田 忠士・室谷 勉

印刷所 名古屋市東区古出来1-1-3 有限会社進栄社

TEL 052-722-1515・FAX 052-722-1517
